

概要: 災害を含むあらゆる事態において、自衛隊の使用する飛行場施設等をはじめとするインフラ基盤の強靱性を強化するため、飛行場施設等の復旧・活用等に必要な資機材等の取得について、中長期的かつ継続的に整備し、自衛隊の安定的な運用を確保する。

府省庁名: 防衛省

(災害対処用資器材の取得)

- 実施主体: 航空自衛隊(新田原基地)
- 実施場所: 宮崎県新富町
- 事業概要: 災害派遣活動時等に使用する箱型土嚢を取得し、必要な能力の維持向上を図る。
- 事業費: 5か年加速化対策(加速化・深化分)約500万円
- 効果: 災害発生時に、航空機及び施設等の防護並びに土砂災害の土留め及び河川氾濫時の塞き止め等に活用することができ、災害派遣活動を的確に実施することが可能となる。



【簡易防護壁(箱型土のう)】【河川氾濫時の塞き止めの様子】

(施設関連機材の取得)

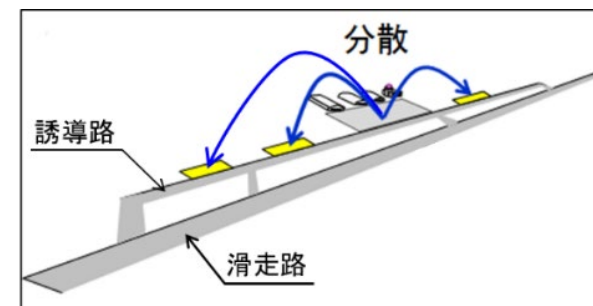
- 実施主体: 航空自衛隊(入間基地等)
- 実施場所: 埼玉県狭山市等
- 事業概要: 迅速な応急復旧に係る測量を実施するために必要な施設関連器材を取得する。
- 事業費: 5か年加速化対策(加速化・深化分)約700万円
- 効果: 飛行場舗装及び道路の応急補修を実施するための器材であり、基地等の道路等が自然災害等により通行不能となった際、迅速な応急復旧が可能となる。



【トータルステーションの測量】

(分散パッドの整備)

- 実施主体: 航空自衛隊(築城基地)
- 実施場所: 福岡県築上町
- 事業概要: 装備品等の分散による部隊防護及び航空防衛力の保全に必要な分散パッドを整備する。
- 事業費: 5か年加速化対策(加速化・深化分)約4000万円
- 効果: 航空機を分散して防護することが可能となり、航空防衛力の保全を図ることができる。



【分散パッド使用のイメージ】